

平成28年度 新潟市体育部 活動報告

部長 本間 直樹

1 研究主題

「できて・わかる」体育授業を目指して（2年次）
～思考を促す手だて（+α）を明らかにする授業づくり～

「できて・わかる手だて」と「思考を促す手だて」の関係性

【できて・わかる手だて】

手だて1 運動のポイント、自分の動きの状態がわかる手だて

手だて2 わかったことをもとに、動きを高める手だて

【思考を促す手だて】

+α 動きを高めるために、思考を促す手だて



2 研究の実際

- (1) 6月 全体研修「新研究計画」の説明 と 質疑応答
- (2) 7月 提案授業
2年 ゲーム（鬼遊び） 東山の下小学校 近藤 拓自 教諭
6年 器械運動（鉄棒運動） 山田小学校 小林 治雄 教諭
- (3) 8月 「教育課程」研修 と 指導案検討
- (4) 9月 授業研究
2年 ゲーム（宝運びゲーム） 巻北小学校 小林 優介 教諭
3年 陸上運動（走り高跳び） 白山小学校 宮本 俊 教諭
6年 器械運動（跳び箱運動） 桃山小学校 小池 誠一 教諭
6年 陸上運動（ハードル走） 亀田東小学校 酒井 慎一郎 教諭
- (5) 11月 授業研究
4年 ボール運動（ゴール型ゲーム） 庄瀬小学校 宮本 祐介 教諭
5年 器械運動（マット運動） 早通南小学校 三宮 真澄 教諭
5年 器械運動（マット運動） 五十嵐小学校 藤本 優 教諭
6年 ボール運動（ゴール型ゲーム） 万代長嶺小学校 鈴木 健太郎 教諭
- (6) 12月 全体研修「思考を促す手だてについて」実践レポート報告会 と ファシリテーション
- (7) 1月 講演会 と 28年度の研究成果と課題の伝達

【講師】

木崎小学校	若月 信久	校長先生
日和山小学校	阿部 正利	校長先生
横越小学校	河内 一美	校長先生
小林小学校	石川 敦子	校長先生
坂井輪小学校	川又 均	校長先生



3 成果と課題

【成果】

- 10の授業実践とその分析により、思考を促す手だての有効性や改善点を明らかにすることができた。
- 全会員が思考を促す手だてを講じた授業を実践し、それをレポートにまとめて持ち寄り、報告し合ったことにより、有意義な情報交換をすることができた。

【課題】

- 思考を促す手だてを重視するあまり、運動量が減ってしまう授業が少なからずあった。運動量を減らすことなく、思考を促すための手だてのあり方を追究する必要がある。
- 思考を促す手だてを機能させるための学習課題のあり方や、その他の手だてのあり方を、児童の実態を踏まえて練り直す必要がある。